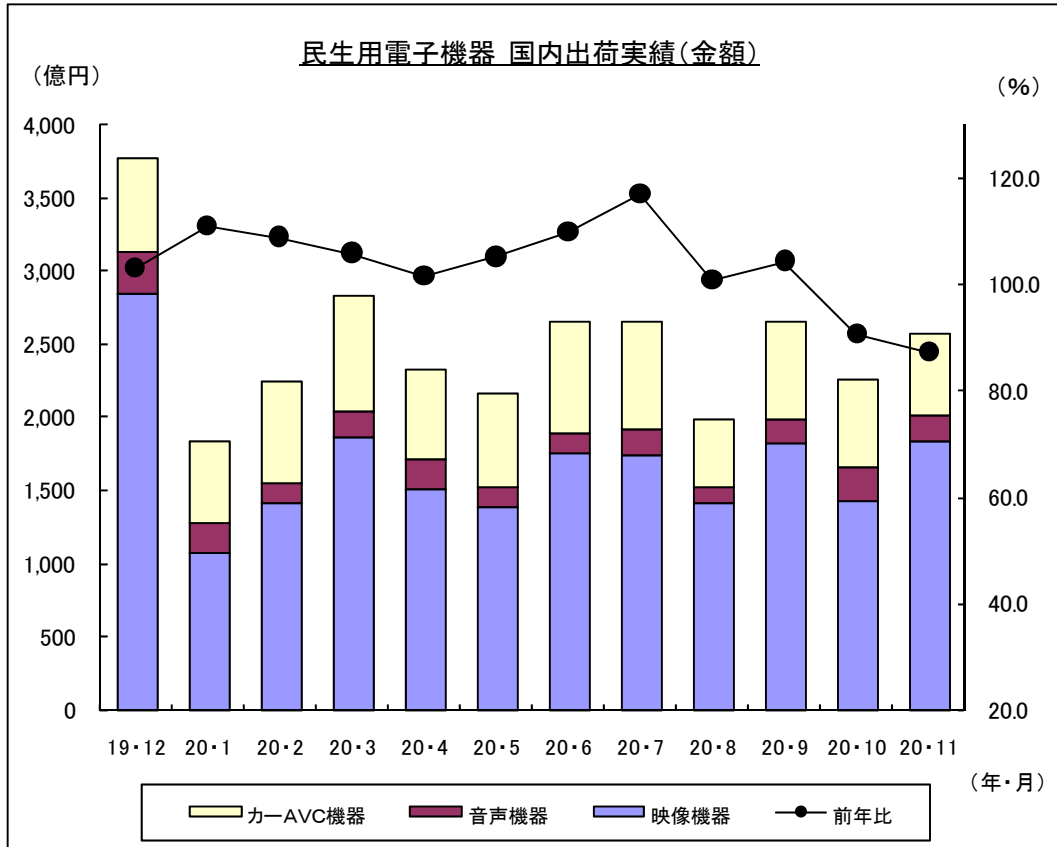


JEITA

全 体 の 動 向



単位：億円、下段斜体字は前年同月比 (%)

	19・12	20・1	20・2	20・3	20・4	20・5	20・6	20・7	20・8	20・9	20・10	20・11
映像機器	2,846	1,069	1,413	1,865	1,509	1,385	1,745	1,739	1,401	1,821	1,425	1,834
	<i>103.6</i>	<i>109.8</i>	<i>108.8</i>	<i>108.9</i>	<i>101.3</i>	<i>107.0</i>	<i>112.2</i>	<i>119.4</i>	<i>106.3</i>	<i>108.2</i>	<i>91.3</i>	<i>92.3</i>
音声機器	284	198	135	177	198	138	146	179	109	167	223	172
	<i>94.8</i>	<i>112.2</i>	<i>103.1</i>	<i>96.4</i>	<i>98.2</i>	<i>93.8</i>	<i>104.6</i>	<i>120.4</i>	<i>99.5</i>	<i>85.8</i>	<i>94.1</i>	<i>82.1</i>
カーAVC 機器	641	563	700	795	614	633	757	728	470	659	611	567
	<i>105.6</i>	<i>112.8</i>	<i>110.5</i>	<i>101.7</i>	<i>104.2</i>	<i>104.4</i>	<i>106.6</i>	<i>111.3</i>	<i>88.0</i>	<i>100.4</i>	<i>88.7</i>	<i>75.7</i>
計	3,771	1,830	2,248	2,837	2,321	2,155	2,648	2,646	1,980	2,647	2,259	2,573
	<i>103.2</i>	<i>111.0</i>	<i>109.0</i>	<i>106.0</i>	<i>101.7</i>	<i>105.3</i>	<i>110.1</i>	<i>117.1</i>	<i>100.9</i>	<i>104.5</i>	<i>90.8</i>	<i>87.4</i>

11月の概況

民生用電子機器の11月出荷金額は、2,573億円、前年比87.4%と2ヶ月連続のマイナスとなった。

分野別に見ると、映像機器国内出荷金額は、1,834億円、前年比92.3%と2ヶ月連続のマイナスとなった。

音声機器国内出荷金額は、172億円、前年比前年比82.1%と4ヶ月連続のマイナスとなった。

カーAVC機器国内出荷金額は、567億円、前年比75.7%と2ヶ月連続のマイナスとなった。

JEITA

- 11月のカラーテレビ全体計(CRT+10型以上液晶+PDP)は990千台、前年比は101.9%となり、プラスに転じた。11月の構成比(台数ベース)は、10型以上液晶が87.9%、PDPが11.4%、CRTは遂に1%を下回り0.8%となり、金額でも1億円を割った。
 - 10型以上液晶カラーテレビは870千台、前年比は105.5%となり、一桁増に留まった。うち、99%以上を占める16:9が861千台、同109.7%、37型以上は261千台、同113.7%となった。
 - PDPは112千台、前年比98.7%の前年割れとなった。引き続き43型以下がPDP全体数量の8割以上を占めている。
-
- 11月のDVDビデオは、324千台、前年比62.5%と、8ヵ月連続の前年割れとなった。その内の半分強を占めるDVD録再機が174千台、同57.5%、残りの半分弱を占めるDVD再生機は150千台、同69.5%と、どちらも大きく前年割れとなった。
 - 次世代光ディスクレコーダ/プレーヤは189千台、前年比279.0%と、勢いはやや衰えたが、引き続き好調に推移しており、DVDビデオと次世代光ディスクを合わせた光ディスク市場の、数量で37%を占めている。また、先月に引き続き今月も、次世代光ディスクレコーダの出荷台数が、DVDレコーダの台数を上回った。
 - ビデオ一体型カメラは75千台、前年比89.9%と、4ヶ月連続の前年割れとなった。全体の6割以上を占めるハイビジョン対応機種のパイプが弱まっており、ハイビジョン非対応機種の落ち込みをカバーできなかった。
-
- ステレオセットは54千台、前年比59.5%と大幅なマイナスとなり、20ヶ月連続の前年割れとなった。
 - デジタルオーディオプレーヤは590千台、前年比98.5%と2ヶ月ぶりにマイナスとなった。うちフラッシュメモリを使用するタイプは98%の577千台であった。
 - HiFiスピーカーシステムは43千台、前年比123.2%と、25ヶ月連続で前年プラス、21ヶ月連続の2桁成長と、依然好調を維持している。
-
- カーオーディオは、カーステレオ本体(カセット)が、27千台、前年比63.8%、カーCDプレーヤが436千台、前年比74.7%と大幅なマイナスであった。カーステレオとカーCDプレーヤの合計は463千台、前年比74.0%であった。
 - カーカラーテレビは78千台、前年比75.8%と4ヶ月連続のマイナスとなった。カーDVDは22千台、同69.6%と27ヶ月連続のプラスから2ヶ月連続のマイナスになっている。
 - カーナビゲーションシステムは349千台、前年比80.1%とマイナスであった。11月のソース別構成比は、CD/DVD-ROMタイプが19.9%、HDDタイプ(その他)が80.1%であった。
 - ETC車載ユニットは593千台、前年比163.1%のプラスとなった。